

かがやく子

平成29年9月22日

福原小・中学校では連携教育を推進しています

福原小・中学校では、協働して授業をしたり学校行事を行ったりしています。これは、小中の教員同士が協力して、9年間の教育活動のつながりをもっと滑らかにし、子どもたちのよさをもっともっと伸ばしていきたいという願いから始まりました。この取組を、広く保護者・地域の皆様に知っていただき、応援していただきたいと考え、連携教育だより「かがやく子」を発行させていただくことにしました。発行は、月一回程度の不定期になります。連携行事の今後の予定や事後の報告等を活動の写真などを中心にお知らせします。ぜひ、ご一読いただき、ご意見やご質問、ご感想がありましたら、下記担当へ直接ご連絡ください。



題名の「かがやく子」は、福原小学校・中学校が共にめざす児童・生徒像です。9年間の義務教育を終える時に、子どもたち一人一人が「自分のよさを輝かせることができる人」「何か一つでもキラリと輝くものをもった人」になってほしいという願いから、めざす児童・生徒像を「かがやく子」としました。

「算数」協働授業

9月8日～12日に、6年生全クラスで、中学校数学の先生を迎えて「算数」の授業を行いました。「比と比の値」の単元です。



小学校の先生

中学校の先生



小学校の先生

中学校の先生

(6年生児童の感想)

難しい言葉もあったり、いつもより進め方が速かったりしたけれど、わかりやすかった。中学校のイメージがわいてきて、いつもと違う雰囲気だよかった。

(小学校の先生方の感想)

「兄・姉の担任」である中学校の先生に親しみを感じたようだ。また、教え方が違ってよくわかったことが自信になり、「数学」への不安が減り、意欲や期待が高まったようだ。